

庄内総合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課〒998-0857
酒田市若浜町1-40
TEL0234(22)6521
FAX0234(22)6522


普及のひろば



高い技術を持つ農業者から次代を担う若手女性農業者が指導を受ける
「手習い塾～あられ・草もち編～」(令和4年1月 酒田市広野)

「年年歳歳花相似たり、 歳歳年年人同じからず、 片や「歳歳年年花同じからず」

酒田農業技術普及課長 佐藤 武義

農業改良普及事業の取組みにつきましては、日頃から御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

一昨年から続くコロナ禍に加えて、昨年4月の降霜や今冬の大雪の被害を受けられた皆様には、この場をお借りして、心よりお見舞い申し上げます。また、復旧・復興が可能な限りスムーズに進捗されますことを御祈念申し上げます。

今年度、当課の新しい顔ぶれで取組んでいる普及計画課題のいくつかの概要を次ページ以降に掲載しますので、是非、御覧いただければと存じます。

さて、表題の対句は約1500年前の中国の唐代の詩の一節であり、御存知の方も多いと思います。現代風に意識してみると、「春になれば花は毎年同じように咲き自然は変わらないけれども、人は変わりゆく。」と表すことができます。自然は変わらないという側面は叙情的な解釈である一方で、近

年の自然現象・気象の変動の大きさは顕著なものがあります。例えば、酒田における桜(ソメイヨシノ)の開花日は、気象庁の生物季節観測累年表、理科年表、地方紙などで調べてみると、30年前の平年値と比較してここ10年間の平均は1週間以上も前進しており、最近の酒田の春の訪れは、30年前の新潟よりも早く、金沢とほぼ同じ時期になっていることが分かります。物差しの起点があたかも変わったような感じです。そのため、モノ作りを基本とする農業において、自然の変化に対応して生産の安定化を図るためには、技術や経験の伝承に加えて、①各種の農作物や家畜の基本的な生態的特性などを改めて学習すること、②五感を研ぎ澄まし生育を観察すること、③ベターな管理方法を選択すること、④適期に着実に作業を進めること、⑤管理等の補助ツールとしてICT機器の活用を図ることなどが、ベテラン農業者、新規就農者ともに共通の重要なテーマになります。

当課では、科学的な根拠に基づき新しい技術、新品種・新品目等の導入及び商品開発などを通じて、農業経営の改善と地域の持続的な発展に向けて、現場主義を基本姿勢に活動に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

令和4年度 普及活動

～人、魅力、農村づくりを
推進します～

アスパラガスやメロンの 産地強化と所得向上を目指して

アスパラガスのハウス長期どり栽培でのICTを活用した栽培環境モニタリング実証圃の設置とデータの共有による産地強化を図ります。

また、ネット系メロンの1株5果どり栽培をテーマとして実践講座を開講し、普及拡大を図ります。



「あぐりログ」を設置した多収技術実証圃
(令和3年8月)

野菜

新たな生育診断ツールを活用し、 高品質・良食味米の安定生産を!

人工衛星画像による「つや姫」の“新しい”生育診断の取組みが、庄内全域を対象に始まっています。令和3年は研究会の立ち上げ、営農指導員向け講習会、モデル地区での実践を行いました。令和4年は管内全域で技術の周知と活用を進めます。



作物

米づくりフォーラムにて生育診断ツールを紹介
(令和4年1月)

ストックのオールダブル系品種で 省力化・出荷率向上を目指す!

八重鑑別作業が不要なオールダブル系品種の作付けを拡大することで、省力化と出荷率の向上を図っています。商品性の高い有望な品種について、実証圃を設置して作型適応性などの調査を行うとともに、市場関係者、実需者とも情報共有を進めます。



実証圃における現地検討会
(令和3年11月)

花き

受賞おめでとうございます

令和3年度庄内地域農林水産業若者賞

佐藤 豪 氏 (酒田市)

平成30年から産直たわわ(八幡地域)の環境保全部長を務め、直売所の品揃え充実に向け、新たに山菜の採取と塩蔵加工についてベテラン組合員に学んで取り組んでいます。



【表彰式(令和4年3月)】

エコエリアやまがた推進コンクール2021優秀賞 (山形県農業協同組合中央会長賞)

全国農業協同組合連合会山形県本部
園芸産地拡大実証研修農場

平成26年に園芸産地の拡大と担い手の育成を担う農場として開設。ASIA GAP認証を取得し、ミニトマトやパプリカなどの技術実証や普及の拠点としての取組みが評価されました。



【受賞者代表の藤井光氏(前列右から2人目)】

※山形県グッドハーベストコンクール【飼料用米の部】

山形県知事賞 佐々木 隆氏 (酒田市) 山形県知事賞 団体 (農)安久里うえだ (酒田市)

ぶどう「シャインマスカット」の新しい産地育成を進めます

水稲育苗ハウス等を利用した「シャインマスカット」の栽培は新規の導入者が順次増加し、生産者が70名を超え、出荷先も拡大しています。今年さらには多くの生産者が収穫を迎えるため、房づくりと適期ジベレリン処理の徹底を主体に栽培技術の向上を目指します。



良い房づくりのための摘粒講習会(令和3年6月)

果樹

耕畜連携による自給飼料の生産・利用について支援します

畜産農家が飼料設計しやすいWCS用茎葉型イネ品種「山形飼糯138号」の安定生産技術の普及に取り組めます。また、米粉SGSの給与技術の実証を通じて、地域で飼料自給率を高めながら、持続可能な畜産経営体の育成を目指します。



「山形飼糯138号」利用推進現地検討会(令和3年8月)

畜産

担い手の経営発展を目指します!

農業の持続的な発展に向け、新たな担い手となる新規就農者、地域を牽引するリーダー経営者、農業法人、女性農業者等の育成が重要です。当課では就農計画の作成支援、専門家アドバイザーの派遣、研修会の開催等による支援を行います。



女性農業者の視察研修(令和3年11月)

経営

地域資源を活用した加工品の開発を支援します

山菜水煮や漬物など商品づくりのための研修会を開催します。品質管理技術のレベルアップを図るセミナーや、若手女性農業者を対象にした伝統的加工品の講習会など、既存商品の改善と地域の新たな魅力ある商品開発を支援します。



食品の保存性を高めるポイントpHについて研修(令和3年10月)

農村資源活用

令和4年度「農業経営実践講座」受講生募集!



野菜基礎コース(令和3年7月)

開講期間 令和4年5月～令和5年1月
会場 酒田農業技術普及課または農業技術普及課及び現地
講座回数 コースにより4～6回(平日の日中に開催)
対象者 新規就農者、就農希望者、経営改善を目指す農業者等 各コース10人程度

コース (受講は2つまで可能です)

- ① 稲作基礎
- ② 野菜基礎
- ③ メロン多収栽培
- ④ 花き基礎(ストック)
- ⑤ オールダブルストック
- ⑥ 果樹基礎(シャインマスカット)
- ⑦ 畜産基礎(肉用牛、乳用牛)
- ⑧ 農産加工基礎
- ⑨ 複式簿記

受講料 無料(コースによって実費負担あり)

申込期限 令和4年5日末日まで

申込先 担当 恩田、佐藤真一まで電話(0234-22-6521)にて

「もしも」のピンチに「いつも」の安心を
収入保険

【収入保険に関するお問い合わせ】
NOSAI山形 庄内支所 収入保険推進課
TEL: 0234-91-1553